

えんだより



可愛保育園

令和6年 1月号



1月の行事

- 17日(水) 感謝のつどい(さくら、きく組)
- 18日(木) クッキング(さくら組)
- 19日(金) たいそう教室(さくら組)
- 23日(火) リズムジャンプ(さくら組)
- 25日(木) 避難訓練
- 31日(水) 誕生日会



2月17日(土) 保育参観、保護者研修会

9:00 ~ 9:50 参観

10:00 ~ 11:30 保護者研修会

講師 「やるきっず」中山直樹 先生

「子どもにとっての運動の大切さ」



あけまして
おめでとうございます。

今年の干支は辰ですね。

子どもたちは大空を翔る龍のように、活力に満ちあふれ元気いっぱい過ごしてくれることでしょう。心の面でも大きく飛躍する姿が楽しみです！

本年も、
どうぞよろしくお願ひいたします。





『今、うちのクラスは。。。』



各クラスの担任へインタビュー！！

今月は《この冬 楽しみにしていること》です。



冬にしかできないことが、いっぱいです😊



★さくら組★

*雪あそび



(雪合戦の作戦を子どもたちで話しているのを耳にします)

*お正月のあそび

工作が好きなので、コマや凧、すごろく、かるたなどを子どもたちと作ってあそびたいです！



★きく組★

雪がたくさん降ったら、うさぎ、雪だるま、階段を作ったり、雪合戦、そり遊びがしたいです。



★ばら組★

雪が降ったら雪遊び！凧を作って凧揚げもしたいです。

★たんぽぽ組★

おおきな雪だるまを子どもたちと作りたい！

お正月あそびも、やってみたいなと思っています。



★もも組★

雪や氷を触って、冷たさを感じながらあそぶ。

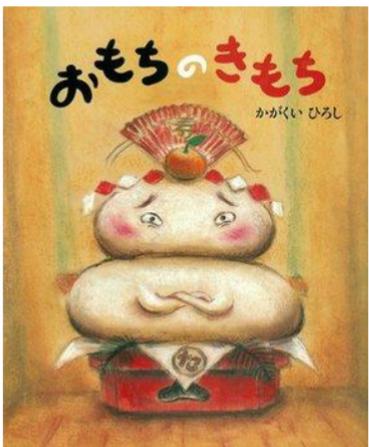
★すみれ組★

*雪を触ってみる

*いろんな素材であそぶ



1月のえほん



「かがみもち」の一人称視点で描いた絵本です。餅の気持ち想像すると、なんとも奇想天外な物語に仕上がります。最後の展開には思わず驚いてしまうことでしょう。
餅に同情してしまうようなお話ですが、その美味しそうな餅を見ると、薄情なことにお腹が鳴ってしまいます。



おもちのきもち

目標に向けた取り組み

ポカポカ

思いやりの心・・・ポカポカの温かい心の子ども

「ありのままの自分でいいんだ」という安心感から、自分と他人を思いやることができるよう、主体としての思いや願いを受け止める

12月2日（土）に、さくら・きく・ばら・たんぼぼ組の保育発表会を行いました。寒いなかお越しく下さりありがとうございました。

保育発表会では、当日までの間、劇の内容を考えたり、踊りたい踊りや衣装を選んだり、楽しんで取り組んできました。

本番当日、いつもとは違った雰囲気とご家族の方を前に、緊張した様子がみられました。この緊張感は自分自身に向き合い、自分の中の精いっぱいを出そうとする思いからのものであったように思います。家族の方に見てもらえるうれしさ、踊りや劇を演じることの楽しさを、力いっぱい出し切っていました。心身ともに大きく成長した姿を見ることができました。

『保育がかわる 信頼をはぐくむ 言葉とかかわり』（須賀義一著）のなかで、

「保育の目的とは、個々の子が安心してその子らしいあり方で、ものごとに前向きな興味や意欲をもち、取り組める環境や対人関係を構築し援助していくことなのです。」と述べられています。

前向きな興味や関心から取り組み、その取り組みのなかで安心感や意欲が生まれ、そして、楽しそうな表情が自然と出てきたように感じました。



研修報告

安芸高田市保育連盟の研修で、武庫川女子大学教授 大和晴行先生より、「乳幼児期の姿勢の発達や手指運動における支援」について学びました。

「姿勢のよさ」「手指の器用さ」を獲得するために1歳～2歳の頃から取り入れたい経験として、次のことを紹介いただきました。

- ・「カー杯、繰り返す」という経験
→全力で走る、ボールをカー杯投げる
- ・腕を肩から大きく動かす経験
→ぶら下がる・物を引っ張る・物を投げる
- ・ハイハイ・走る・跳ぶといった基礎的動作の十分な保障
→足、太ももをしっかりと動かす
- ・自然物を積極的に遊びに取り入れる
→強い力で掴むとつぶれてしまう、指先の力加減が必要
- ・自己コントロールや我慢の力の前に、興奮する経験を十分に保障する
→親子遊びで興奮、ケンカによる興奮、戸外での冒険による興奮、攻撃的な遊び（相撲、鬼ごっこなど）による興奮